

平成21年9月3日

成瀬ダムをストップさせる会
代表 奥州 光吉 殿

国土交通省
湯沢河川国道事務所
所長 浜本 聡 

「建設中の成瀬ダムに関する公開質問状」に対する回答について

標記について、下記のとおり回答します。

記

1. (1)、(2)及び(3)について

成瀬ダム建設予定地において、岩手・宮城内陸地震によってダム建設に影響のある被害は現時点では発生していません。同地震による国道342号の被害の詳細については、道路管理者である秋田県にお問い合わせ下さい。

なお、当事務所では成瀬ダム建設予定地での地震観測は行っていません。

1. (4)及び(5)について

ご質問の「北ノ俣沢周辺」や「北ノ俣沢直下」の範囲が不明ですが、成瀬ダム建設予定地において、岩手・宮城内陸地震によってダム建設に影響のある被害は現時点では発生していません。

なお、成瀬ダム転流工については、同地震の発生時点では現地着工していませんでした。

1. (6)について

これまでと同様に、成瀬ダム建設事業を進めるために必要な地質調査や設計等を引き続き行っていく予定です。

2.について

原石山については、候補地として複数地区の調査を行っているところであり、品質・必要量・建設コスト削減・景観・周辺環境への影響等を考慮しながら総合的に検討しているところです。

上記調査の状況については、秋田県に情報提供しています。

なお、地質、動植物の環境影響評価については、「雄物川水系成瀬ダム建設事業環境影響評価書(平成11年5月)」として取りまとめております。

3.について

猛禽類保護の観点から、成瀬ダム建設予定地周辺における特定の巣の詳細についてはお答えできませんが、当事務所が専門家にも同行頂いて実施する現地調査の結果や現地に設置されたカメラによる映像は、同専門家を含み構成される「成瀬ダムに係るイヌワシ・クマタカ調査委員会」(以下、「調査委員会」という。)に報告し、検討して頂いています。

今後とも、調査委員会のご指導の下、適切に猛禽類調査を行っていきます。

なお、成瀬ダム建設予定地周辺における猛禽類の状況については、秋田県に情報提供しています。

4.について

成瀬ダムの付替道路のうち、通称「1号トンネル」に接続する桧山台東側の道路建設に伴い伐採された樹木に関するご質問と推察しますが、ご質問があった項目については、猛禽類保護の観点や記録が残っていないことにより、お答えできません。

なお、成瀬ダム建設予定地周辺における猛禽類の状況については、秋田県に情報提供しています。

5.について

赤滝神社については、土地を所有されている方々の調査を進めているところであり、移転等については決まっておりません。個人情報にも関連するため詳細を明らかにできませんが、今後ともご協力が得られるようお願いしてまいります。

6.について

当事務所のホームページにおいて、成瀬ダム建設事業に関する情報を提供しています。